

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成28年4月分)

平成28年5月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
  - (1) 国家レベル
  - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH 連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
  - (1) 国際機関、フォーラム
  - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
  - (1) 経済指標
  - (2) 経済政策、公的事業
  - (3) 支援、援助
  - (4) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●ラドンチッチ被告(SBB党首)の拘留終了(14日)

BH裁判所は、ラドンチッチ被告(「より良き将来のための同盟(SBB)」党首)の弁護団の要求に応じて、同被告にサラエボ・カントン(県)外への移動を禁止したうえで、同人の拘留終了を命じた。

#### ●BH通信運輸相候補の変更(19日)

SBB幹部会は、BH通信運輸相の候補としていたダウトバシッチ被告(BH治安省次官)が司法妨害等の罪で公判を受けている状況を勘案し、同人の候補を取下げた。その後、S

BBはユスコ現サラエボ・カントン内務相を新たなBH通信運輸相候補とすることを発表した。

SBBによる推薦を受け、27日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、ユスコ候補の適性確認をBH中央選挙管理委員会及び国家捜査保護庁(SIPA)に依頼した。

#### ●モスタル市での地方選挙の実現に向けた選挙法改正案がBH下院で否決(27日)

27日のBH下院会合には、モスタル市において08年以降実施されていない地方選挙の実施を可能とするため、計3案のBH選挙法改正案(「社会民主党(SDP)」及び「民主戦線(DF)」共同案、「クロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)」案及び「民主行動党(SDA)」及び

SBB共同案)が提出されたが、いずれも否決された。

同日のBH下院会合には、政党間作業部会が作成した、主に技術的事項に関わるBH選挙法改正案が提出されたが、こちらは採択された。

## (2)エンティティ、特別区

### ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

#### ●復員軍人がBH連邦政府庁舎前で抗議活動を展開(25日)

紛争中のBH共和国軍及びクロアチア防衛評議会(HVO)の復員軍人約1,000人がBH連邦政府前で抗議活動を展開し、退役軍人年金の条件改善等を要求した。同抗議活動への参加者らは、7日以内に問題解決が見られない場合、更なる抗議活動を展開することを表明した。

### イ スルブスカ共和国(RS)

#### ●ドディックRS大統領が、RS野党が予定する抗議活動に対抗して、別の抗議活動を組織すると発言(16日)

RS野党「改革のための連合」が、5月14日に現RS政権に対する抗議活動を組織すると発表したことに対して、ドディックRS大統領(与党「社会民主主義者連合(SNSD)」党首)は、同日に、同抗議活動に対抗し、RS野党を糾弾するための別の抗議活動を組織すると発言した。

これに対してボレノビッチ「民主進歩党(PDP)」党首は、「抗議活動に別の抗議活動で対抗することは、衝突を呼びかける様なものである。(ドディック)RS大統領のこのような行動を非難する」と述べた。

## 2. 外政

### (1)国際機関、フォーラム

#### ●旧ユーゴ国際刑事裁判所(ICTY)によるシェシエリ被告への無罪判決に関するブラメルツ「国際刑事裁判所のためのメカニズム(MICT)」検察官の声明(6日)

ブラメルツMICT検察官は、プレスリリースにおいて、3月31日のICTYによるシェシエリ「セルビア急進党(SRS)」党首への判決に関して、多くの過誤が発見されるとし、同事件に関する控訴が、今後MICT検察局の最優先事項となると述べた。

シェシエリSRS党首の公判に関しては、第一審をICTYが行った後、以降の手続はMICTにおいて行われる。

#### ●欧州議会がBHのEU加盟申請提出を歓迎する旨の決議を採択(14日)

報告者となったプレダ欧州議会議員は、「欧州理事会が英の住民投票に関する問題について議論したのと同じ週に、BHはEU加盟候補申請を提出した。これは、EU体制が今も魅力的であることの証左である」、「欧州議会は、同国の欧州に向けた前進を支援し、欧州理事会に対して、早々に加盟候補国申請を審議し、同国が改革の道に留まることを促すことを要請する」と発言した。

同決議では、RSにおける国家レベルの司法体制に関する住民投票の提案が、BHの主権及び一体性に挑戦するものとして非難された。

#### ●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が国連総会で気候変動に関する「パリ協定」署名、リュケットフト国連総会議長との会談(22日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、署名後、「BHは小国だが、気候変動への影響に関しては、(気候変動防止に向けた)鎖の全ての箇所が重要だと確信している。産業的發展と自然保護のバランスを取ることは可能」と述べた。

リュッケトフト国連総会議長との会談で、ズビズディッチBH閣僚評議会は、歴史的な「パリ協定」の署名式開催に謝意を表明し、BHが同協定を早急に批准できるよう努力すると伝えた。両名は紛争、貧困、気候変動及び自然災害による人道危機について協議し、翌月イスタンブールで行われる国連人道サミットの重要性について同意した。

#### ●BHのWTO加盟交渉団がアゼベドWTO事務局長らと会談(21日)

ティニャクBH・WTO加盟交渉団長は、「BHでは貿易分野に大きな進展があったが、『国内取引に関するBH連邦法』の問題が残っている。今年6月末までにこれを改正し、WTO加盟交渉を終える意思を示さなければならない。ウクライナ、ロシア及びブラジルとの交渉が円滑に進めば、今年7月上旬には、BHが16年までにWTOに加盟出来るかが判明する」と述べた。同人は、アゼベドWTO事務局長は、BHのWTO加盟を好意的に捉えていると付け足した。

## (2)要人往来、国際会議等

#### ●ツルナダクBH外相のギリシャ訪問、パヴロプロス・ギリシャ大統領及びゴジヤス・ギリシャ外相らと会談(1日)

これらの会談では、BHとギリシャの二国間関係やBHのEU加盟プロセス等について協議された。会談では、BH及びギリシャの二国

間関係は良好であることが確認された。ツルナダクBH外相は、ギリシャによるBHのEU加盟申請の受入れと、EU加盟プロセスの次の段階である、欧州委員会によるBHへの質問票送付への支持を要請した。

#### ●イバニッチBH大統領評議会メンバーが第19回ユーラシア経済サミット(於イスタンブール)に出席(5日から7日)

イバニッチBH大統領評議会メンバーは、開会式での演説において、治安及び移民のグローバルな問題を克服するための協力が必要と述べた。

#### ●ツルナダクBH外相がエストニア訪問、カリユランド・エストニア外相らと会談(6日)

ツルナダクBH外相は、BHの政治情勢についてカリユランド・エストニア外相に伝え、同国によるBHのEU加盟プロセスに対する支援に謝意を伝えた。両外相は、両国間における、特に経済及び投資関係の発展の必要性を強調した。

#### ●イバニッチBH大統領評議会メンバーがアンカラを訪問、エルドアン・トルコ大統領と会談(7日)

イバニッチBH大統領評議会メンバーは、経済協力分野において、過去数年で両国間の貿易量が飛躍的に上がったことに触れた。特に、14年の洪水被害への支援の一環として、BHからトルコへの牛肉の輸出が開始したことの重要性を強調した。イバニッチBH大統領評議会メンバーは、トルコ国際協力調整庁(TIK A)による支援への感謝を伝えた。

エルドアン・トルコ大統領は、BHのEU加盟プロセス及びNATOの加盟行動計画(MAP)

発効が、経済発展に要する安定的な政治環境を提供するとして、支持を強調した。エルドアン大統領は、トルコ投資家がBHで直面する困難及び障害の解決の支援を求めた。

イバニッチBH大統領評議会メンバーは、アンカラにおいてダーヴトオール・トルコ首相とも会談を行った。

#### ●ズビズディッチBH閣僚評議会議長のトルコ訪問(7日及び8日)

7日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長とダーヴトオール・トルコ首相の会談後、BH閣僚評議会代表者とトルコ政府の会合が行われた。ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、BHにおける改革アジェンダの進行状況について伝え、トルコによるBHのEU及びNATO加盟に向けた支援に謝意を表明した。両名は、二国間の貿易協定、特に肉製品の貿易について協議した。

同日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、アンカラにおいてエルドアン・トルコ大統領と会談。ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、改革アジェンダの履行状況を含め、BHにおける最近の進展について伝えた。両名は、移民危機や頻発するテロ攻撃についても協議した。

8日、ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、ダーヴトオール・トルコ首相と共に、アンカラで開催されたBH・トルコ・ビジネス・フォーラムに出席した。ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、BHはエネルギー、農業、木材加工、製鉄、運輸及び観光分野において戦略的パートナーを必要としており、ビジネス環境の強化に向けた改革を進めていると伝えた。

ズビズディッチBH閣僚評議会議長のトルコ訪問には、シャロビッチBH対外貿易経済関係

相、ペンデシュBH国防相、オスマノビッチBH民生相、ジャポBH連邦観光・環境相が同行した。

#### ●ツルナダクBH外相のフィンランド訪問、ソイニ第一副首相兼外相と会談(7日)

ツルナダクBH外相は、BHのEU加盟申請提出を受け、加盟候補国の地位獲得に向けてEU加盟国からの支持を得るための外交活動の一環として、フィンランドを訪問した。両外相は、EU加盟、域内協力及び経済協力を含む二国間関係について協議した。ソイニ第一副首相兼外相は、BHのEU加盟プロセスへの支持を表明した。

#### ●ツルナダクBH外相のスウェーデン訪問、ヴァルストローム・スウェーデン外相と会談(8日)

ツルナダクBH外相は、スウェーデンによるこれまでのBHのEU加盟に向けた支援に謝意を表明し、今後もこれが継続されることに期待を示した。ツルナダクBH外相は、二国間関係の進展の上で、特に経済協力の強化に焦点を当てるべきとした。

両者ともに、二国間関係の発展の上で、スウェーデン在住の57,000人以上のBHからのディアスポラが果たす役割の重要性を強調し、BH出身者がBHで起業しり傾向を歓迎した。ツルナダクBH外相は、特にITセクターにおいて、BHからのディアスポラが強みを持っていると指摘した。

#### ●BH大統領評議会と、モスタル見本市のためにBH訪問中のキスカ・スロバキア大統領、ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領及びクルトゥルムシュ・トルコ副首相との会談(12日)

キスカ・スロバキア大統領とBH大統領評議会の会談では、二国間関係と経済協力の強化が協議された。キスカ・スロバキア大統領は、BHのEU加盟プロセスにおいて必要な支援を継続することを強調した。また、BH国内の全アクターが、EU加盟を果たすための改革及び発展を実現する意思を共有する重要性を確認した。会談後、同席したライチャーク・スロバキア副首相兼外務・欧州問題担当相は、スロバキアが今年7月にEU理事会議長国となった際には、BHのEU加盟プロセスを前進させるため、BHに質問書を送るよう欧州委員会に要請する、と述べた。

ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領とBH大統領評議会は、両国間に懸案はなく、ウィーンで締結した両国間の国境合意が、二国間関係向上の基礎となっていることを確認した。域内の協力関係、特にサラエボ―ポドゴリツァ間の道路近代化と、ニクシッチ―チャプリナ間の鉄道整備に関する活動を継続することが強調された。ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領は、BHによるEU加盟候補国申請の提出を歓迎し、BHにおける改革プロセスの継続を促した。

クルトゥルムシュ・トルコ副首相との会談では、両国間の友好関係が確認され、16年のモスタル見本市において、トルコがパートナー国となったことへの感謝が伝えられた。両者は、特に経済投資分野における両国間関係の更なる向上への意思を表明した。

#### ●BH大統領評議会各メンバーとブチッチ・セルビア首相が会談(於モスタル)(12日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長とブチッチ・セルビア首相との会談では、ボシュニャクとセルビア系(人)の相互理解の重要性と、対話の強化の必要性が話された。会談後、国

際司法裁判所(ICJ)における「ジェノサイド条約適用事件」を巡ってセルビアを再提訴する可能性について、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、現状ではこれに足る新たな証拠は見つかっていないと述べた。

イバニッチBH大統領評議会メンバーとブチッチ・セルビア首相との会談では、RSの地位、BH内のセルビア系の地位、BH・セルビア間関係について意見交換が行われた。両名は、BH・セルビア間関係に問題はないとし、「BH大統領評議会の個別のメンバーの主張と、BHとしての主張は異なる」と述べた。

チョービッチBH大統領評議会メンバーとブチッチ・セルビア首相との会談では、BH及びセルビアのEU加盟プロセス、域内関係について協議が行われた。

#### ●イゼトベゴビッチ大統領評議会議長が第13回イスラム協力機構(OIC)サミット出席のためトルコ訪問、エルドアン・トルコ大統領と会談(13日)

両名は、両国間関係はこれ以上なく良好であると、この関係の維持を希望する旨を表明した。両名は、イスラム社会が、特にテロ、派閥間闘争及び武力紛争等の深刻な課題に面しており、イスラム諸国の団結が必要と述べた。会談では、他に中東治安情勢の悪化、シリア情勢、難民及び大規模移民危機におけるEU及びトルコ間関係について協議が行われ、イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、トルコ国民が度々テロの犠牲となっていることに哀悼の意を表した。両名は、テロ及び暴力的過激主義との戦いへの取組を表明し、治安分野において緊密に協力することを確認した。

●イゼトベゴビッチ大統領評議会議長とアリエフ・アゼルバイジャン大統領の会談(於イスタンブール)(13日)

両名は、BHとアゼルバイジャンの二国間関係が良好であることを確認した。イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、アリエフ・アゼルバイジャン大統領に対して、アゼルバイジャンの支援でドボイ近郊に建設された食品加工工場の操業開始にあわせ、今秋BHを訪問するよう招待し、アリエフ・アゼルバイジャン大統領はこれを受け入れた。会談では、特に経済関係の強化について協議が行われ、両名は、アゼルバイジャン投資家の関心を集めるような事業の可能性について、BHが提案を出すことに合意した。

イゼトベゴビッチBH大統領評議会議長は、ナゴルノ・カラバフ地域を巡る情勢不安について、アゼルバイジャンの領土の一体性と、その領域に関する主権回復のための権利を支持する旨を伝え、政治的解決に向けたOSCEミンスク・グループにおける交渉強化を呼びかけた。

●イゼトベゴビッチ大統領評議会議長とヌール・ヨルダン首相の会談(於イスタンブール)(14日)

両名は、BH及びヨルダンの双方向間で、ハイレベルの要人訪問の招待を交換した。会談では、イスラム社会が直面する急進化、テロ及び暴力的過激主義等の問題について協議された。両名は、テロとの戦いや過激主義化の抑制に関する経験を共有する必要性を指摘した。経済協力についても協議され、ヨルダン・BH経済フォーラムの開催が検討された。

●ツルナダクBH外相が「GLOBSEC2016」(於ブラチスラバ)に参加(15日から17日)

ツルナダクBH外相は「移民危機の中心にある西バルカン」と題したセッションに参加し、BHの政治情勢、西バルカン地域の安定及び移民危機の影響について発言した。ツルナダクBH外相は、域内協力は、BH外交政策の柱の一つであると強調した。

ツルナダクBH外相は、会議のサイドラインにおいて、リンケビチュウス・リトアニア外相らと会談を行った。

●ツルナダクBH外相のイタリア訪問、ジェンティローニ・イタリア外相と会談(26日)

会談で、両名はBHとイタリアの二国間関係は友好的で懸案もないことを確認し、更なる二国間関係の向上のため、接触をより強化すべき点で合意した。ツルナダクBH外相は、二国間の貿易関係の好調をふまえて、経済協力を更に強化することへの関心を示し、BH・イタリア間の経済協力協定を近い将来に締結することへの期待を示した。ツルナダクBH外相は、EU加盟候補国申請の受入れに向けたイタリアの支援を要請した。

域内協力について、特にBHの中欧イニシアティブ(CEI)議長国への就任、ブルドー・ブリュニ・プロセス及びベルリン・プロセスが言及された。

### 3. 経済

#### (1) 経済指標

●産業生産高

BH統計局の発表によると、16年3月の産業生産高は、16年2月と比較して2.4%の増加。15年3月との比較では10.3%の増加。

### ●雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、16年2月のBH全体の雇用者数は718,218人。16年2月の失業者数は536,684人で失業率は42.7%となった。

### ●平均給与

BH統計局の発表によると、16年2月のBHにおける平均給与は829KM(約424ユーロ)で、前月から変わりなし(15年12月との比較で1.6%減)、15年2月との比較では1.1%増となった。

### ●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、16年3月は、16年2月と比較して、消費者物価指数の平均に変化なし。年間比較では、平均1.8%下落した。

### ●銀行部門

BH中央銀行によると、16年2月末時点でBH国内の銀行が提供した融資総額は168億KM(約85億9,000万ユーロ)で、15年2月と比較して2.5%の上昇。国内銀行への預金総額は164億8,000万KM(約84億2,600万ユーロ)で、15年2月と比較して8.2%の上昇。

### ●貿易額

BH統計局の発表によると、16年1月から3月のBHの輸出額は21億1,160万KM(約10億7,960万ユーロ)、15年同時期と比較して0.2%減)、輸入額は31億5,400万KM(約16億1,260万ユーロ、15年同時期と比較して1.6%減)となった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、16年1月か

ら3月):①ドイツ(3億7,380万KM/約1億9,110万ユーロ)、②イタリア(2億8,130万KM/約1億4,380万ユーロ)、③クロアチア(2億560万KM/約1億510万ユーロ)、④オーストリア(1億7,290万KM/約8,840万ユーロ)、⑤セルビア(1億4,810万KM/約7,570万ユーロ) 参考:日本(16年3月分のデータなし)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、16年1月から3月):①ドイツ(4億6,130万KM/約2億3,590万ユーロ)、②イタリア(4億970万KM/約2億950万ユーロ)、③セルビア(4億880万KM/約2億900万ユーロ)、④クロアチア(3億2,080万KM/約1億6,400万ユーロ)、⑤中国(2億5,970万KM/約1億3,280万ユーロ) 参考:日本(2,107万KM/約1,077万ユーロ)

\* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

### ●観光客数

BH統計局の発表によると、16年2月、BHにはのべ52,157人(うち日本からは119人)の観光客が訪れ、前月比で5.2%増、前年比5.2%増となった。

## (2)経済政策、公的事業

### ●BH外国投資促進庁(FIPA)がBHのビジネス環境向上のための提言を発表(5日)

FIPAは、近年の投資家が直面した問題のうち、特に重要なものとして、「債権回収に際する裁判手続の遅延」、「租税手続(期限及び書類)」、「未解決の所有権問題」、「規制されていない土地登記」、「認可の発行(水、電気及びインフラ)」、「腐敗及びグレイ・エコノミーの存在(不公平な競争)」、「賃金の多くを占める

社会保障費」、「複雑な行政手続」、「付加価値税(VAT)に関連する多くの問題」、「複雑な関税手続」、「就労及び定住許可発行に要する長期間の手続」、「検査の問題」を挙げた。

FIPAは、07年より外国投資家への投資後支援プログラムを実施し、外国投資家からBHへの投資の際に生じた問題等に関する情報を収集している。

●BH連邦政府が、旧ユーゴ諸国に継承されたロシアによる負債の返還について、BHへの返還方法を受入れ(7日)

ロシア財務相からの書簡の中で、同国が1億2,520万米ドル分にあたるBHへの負債返還を、両エンティティへの送金(BH連邦66.6%、RS33.3%)のかたちで行うことを表明したことに対して、BH連邦政府はこれを受け入れることを発表した。

●ビハチ近郊の風力発電所建設事業にクロアチア企業が参加することが決定(11日)

ビハチ近郊のテオチャクに、40メガワット級、総事業費4,000万KMから5,000万KM(約2,050万ユーロから2,560万ユーロ)の風力発電所を建設する事業について、ウナ・サナ・カントン(県)が参加企業を公募していたところ、クロアチア「IVICOM Consulting」社が開発権を獲得したことが発表された。

●BH閣僚評議会がトゥズラ火力発電所第7号基の建設事業を承認(11日)

BH閣僚評議会による決定に対して、メリツチ元トゥズラ火力発電所第7号基建設事業代表は、当初は同事業が16年に完了する予定だったところ、現在の予定では、早くも事業完了は21年になると述べた。同人は、環境基

準を理由にEUが同事業に対する融資を断ったため、中国輸出入銀行(The Export-Import Bank of the ROC)から15億KM(約7億6,700万ユーロ)の融資を、利率2%、返済期間20年の条件で受けることになったと述べた。

●トミスラブ・グラードにおける風力発電機導入事業について、電力供給公社「Elektroprivreda HZHB」社が、ドイツ「Siemens」社と契約締結(13日)

「Elektroprivreda HZHB」社と「Siemens」社との契約金額は7,200万ユーロで、これにより「Siemens」社は、22基の風力発電機(50.6メガワット分)の導入を行う。同事業は、18年春に完了予定。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が、IMFからの将来的な融資額は10億5,000万KMになると発言(18日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、IMFと、3年間で10億5,000万KM(約5億3,700万ユーロ)の新規融資に合意したとし、IMFからの派遣団が5月にBHを訪問する際に合意の最終調整を行うと発言した。

IMFの新規融資のためには、銀行制度の効率化及び透明化のための規制の強化と、国内の税当局間の協力強化が、BHに対して条件として提示され、未履行の状態。

●ズビズディッチBH閣僚評議会議長が、安定化・連合協定(SAA)の調整交渉が間もなく合意に至ると発言(21日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、欧州委員会との交渉は最終段階にあり、間もなく暫定的貿易協定について合意出来ると発言した。ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、「E



Uの原則を満たし、段階的調整を可能とする解決策が見つかった」と述べた。

ティニャクBH首席交渉官は、欧州委員会とBH側交渉団の見解は近付いており、調整されたSAAへの署名は5月中に期待出来ると発言した。

### (3) 支援、援助

#### ●EU及び欧州復興開発銀行(EBRD)がBHの中小企業支援のための新規事業を開始(11日)

EBRDは、BH内中小企業に対して、BH国内の銀行を通じて2,000万ユーロを提供し、EUは400万ユーロを中小企業に対するノウハウの提供の用途で提供する。

EU加盟プロセスにおけるEUアキの受容によって、大幅な規制改革が必要となり、中小企業はその適応に多大な投資を要するところ、本事業は、そのプロセスを支援することを目的とする。

### (4) 民間企業

#### ●BHの貧困層及び富裕層についての調査結果(7日)

「ドネブニ・リスト」紙が掲載した調査結果によると、BH国民のうち、60万人が貧困ラインを下回る生活を送っており、更に100万人の生活水準は、貧困ラインを僅かに上回るに留まっている。

別の調査では、BHには3,000万米ドル以上の高額所得者が92人おり、あわせて10億KM(約5億1,100万ユーロ)の資産を保有している。また、100万KM(約51万1,300ユーロ)以上を保有する資産家は、BH内に525人いるとされる。

(了)